

8/27 公園がきれいになってスッキリ！
ジュニアリーダー夏のボランティア

町ジュニアリーダーによる夏のボランティアが、鼻ぐり井手公園で実施されました。参加者は9人。ジュニアリーダーは、公園でごみ拾いと除草作業を行い、来園者が気持ちよく利用できるようと汗を流しました。清掃作業の後は、県の指定史跡である鼻ぐり井手の見学と、交流センターで動画を視聴し、町が誇る地域の宝について学びました。

ジュニアリーダーの一人は「朝早くからのボランティアで気持ちもスッキリしました」と感想を述べました。



ベンチを利用しやすいようにするジュニアリーダー

8/24 次の400年へ
豊後街道菊陽杉並木親子植樹式

豊後街道菊陽杉並木に、杉の苗木36本を親子で植樹しました。参加した親子は15組41人。杉の苗木は、約420年前、加藤清正が豊後街道を整備する際、屋久島の杉を植えたことと伝えられていることが縁で屋久島に町からお願ひして譲り受けたものです。参加者は「いい記念になった。たまに様子を見に来たい」と話しました。



親子で苗を植える



苗を植えるために土をスコップで掘る参加者

7/28・8/4 キャロッピー食堂開催！
地域女性の会が子どもたちに弁当を配布

子どもたちの食育や地域交流を目的に、西部町民センターと中央公民館で開催。食材の一部は菊池地域農業協同組合菊陽中央支所が提供しました。今回は武蔵ヶ丘北小学校と菊陽中部小学校の児童を対象に各先着50人と各学童クラブへ手作りのお弁当を配布しました。



弁当を配布する会長の酒井恵さん

武蔵ヶ丘北小学校の村中こいらさん(にじの森)は「今日は、友達と来ました。楽しみにしていたので早く帰って食べたいです」と話しました。菊陽中部小学校の前村泰我さん(緑陽台)は「いい匂いがするので早く食べたいです。また開催してください」と話しました。

7/28~29 将来の夢は『日本一の剣士』
全国道場少年剣道大会第3位

第56回全国道場少年剣道大会が、日本武道館(東京都)で行われ、菊陽中部小学校6年の小宮尚通さん(大堀木)が所属するKIZUNA 塾が3位に入賞しました。この大会には、全国の子選から勝ち上がってきた団体600チーム以上が参加。小宮さんは、予選ブロックから決勝トーナメントまでの9試合すべてKIZUNA 塾の快進撃に大きく貢献しました。小宮さんは、「将来の夢は日本一の剣士になることです」と笑顔で語りました。



トロフィーと盾を手に笑顔を見せる小宮さん

みんなの広場

投稿募集中



皆さんが町民の皆さんに伝えたい情報や、活躍を掲載します。掲載月の2カ月前の月の15日までにご連絡ください。

☎ 総合政策課 企画政策係
☎ (232) 2112
✉ kouhou@town.kikuyo.lg.jp

8/20 町の食材を町の人と子どもたちのために
こども食堂 キッズレストランいーと

県営武蔵ヶ丘団地内にあるほっとステーションでキッズレストランいーとを開催しました。これはこども発達支援センターえるびあが子どもたちの地域交流の場と栄養のある食事の提供を目的に月に一度行っています。当日は地域の企業や団体、個人が提供した野菜のつかみ取りや、子ども向けのゲーム、やきそばやカレー(有料)などの食事がふるまわれました。食事に訪れた子どもたちは「おいしかった。かき氷の味をミックスできたのが楽しかった」と笑顔を見せてくれました。このイベントの運営にボランティアで協力してくれる人や食べ物などの寄付も受け付けています。興味のある人は問い合わせ先までご連絡ください。次回の開催は10月8日(出)です。☎ NPO法人チャイルドサポートセンターきくち こども発達支援センターえるびあ 担当 北村 光代 ☎ (233) 2833



8/7 ゆかたでおでかけしてみませんか
親子ゆかた着付け教室

日本和装協会の赤星美代子さん(光3町内)が令和4年度文化庁伝統文化親子教室事業の一環で親子に着物やゆかたに親しみを持ってもらおうと主催。全3回の教室には17組の親子が参加しました。参加者は「自分一人で着れるようになって嬉しい。ゆかたででかける機会を増やしたい」と笑顔で話しました。



帯の結び方を習う参加者

8/19 無病息災を祈る
上津久礼の伝統行事『川施餓鬼』

川施餓鬼法要が、上津久礼公民館で行われました。川施餓鬼は町の無形民俗文化財に指定されており、330年以上続く上津久礼の伝統行事です。その昔、津久礼は白川中流域右岸に沿って開かれた豊かな水田地帯でしたが、その反面、水難と人や家畜の悪疫に悩まされていました。そこで、1678年ごろ、藩命で津久礼の住民は村をあげて現在地に移り住みました。そして今日まで、水難による先祖の供養と無病息災を祈るために川施餓鬼を続けています。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館で読経のみの開催。竹と麦わらで馬をかたどりちょうちんをつけた「施餓鬼馬」を上津久礼の住民が手作りし、公民館の入り口に並べました。例年、川施餓鬼の後に行っていた夏祭りは行われませんでした。代わりにグラウンドから花火が打ち上げられました。子どもと花火を見に来た住民は「大きな施餓鬼馬が並び夏祭りは幼いころからの思い出。コロナの影響で規模が縮小して寂しいが、家族で花火だけでも見ることができてよかった」と語りました。



施餓鬼馬と法要に参加した地域住民と来賓



上津久礼グラウンドから打ち上げられた花火



上津久礼の住民が作成した施餓鬼馬

Happy Birthday

ぼくのわたしの誕生日

なかしま まこ
中嶋 麻心さん
平成30年10月30日生まれ(光団地)
ダンスが好きで、苦手なことにも諦めずに挑戦して頑張っています。

いのうえ たき
井上 太葵さん
平成30年10月31日生まれ(下原)
ぬりえがとても上手で、身の回りのことを自分で頑張っています。

津久礼ヶ丘保育園